

# 凍結のおそれがあるときの処置

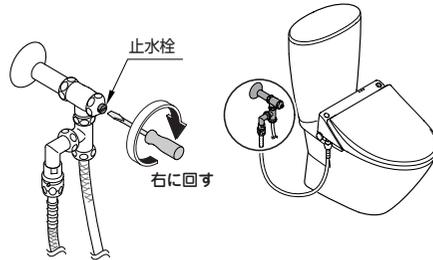
●お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。  
(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

## ① 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。

### ⚠ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓ははずさない  
(水が噴き出します。)



## ② 配管の水を抜く

- ① リモコンの「ノズルそうじ」スイッチを押す(配管内の残水を抜く準備です。)
- ② キャップを開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってははずす  
(給水フィルターの掃除 ④ 項 参照)
- ③ 給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く  
(約30ml)



## ③ ウォシュレット本体を取りはずす

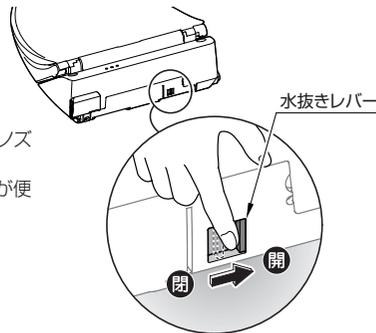
(③ウォシュレット本体の取り付け ウォシュレット本体の取りはずしかた 項 参照)

- 取りはずしたウォシュレット本体は便器上面の前方に置いてください。

## ④ ウォシュレット本体内の水を抜く

- ① 水抜きレバーを「開」位置に押し続ける
  - ウォシュレット本体のノズル付近から水(約40ml)が便器内に出ます。  
水が完全に抜けるまで約15秒かかります。
- ② 手を離し、水抜きレバーを「閉」の位置に戻す
  - 水抜きレバーを押している途中にノズルが自動で出てきます。ノズルの穴から少量の水が出て、約30秒後に自動で戻ります。  
※ウォシュレット本体のノズル付近および、ノズルの穴から出る水が便器内に落ちるようにしてください。

【ウォシュレット本体背面】



## ⑤ 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締めてキャップを閉める

※ノズルが戻っている場合は、もう一度「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸出させてください。

(給水フィルターの掃除 ④ 項 参照)

## ⑥ 「ノズルそうじ」スイッチを押し、ノズルを戻す

## ⑦ ウォシュレット本体を取り付ける

(③ウォシュレット本体の取り付け ① 項 参照)

# TOTO

# 施工説明書

## ウォシュレット® アプリコットF レストルームドレッサーシステムシリーズ専用品

### 工事店様へ

※ビルトインリモコンとビルトイン室内暖房はID設定をしないと動作しません。必ず設定を行ってください。

(10、11ページをご覧ください)

- スティックリモコン用の盗難防止用部品を使用しない場合は、お客様にお渡しいたします。
- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。  
新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- ウォシュレットを左右または対面方向に2台以上ならべて設置するときは、隣のリモコン信号を受け付けて作動することを防ぐため、リモコンの連立対応を行ってください。  
詳しくは、連立対応について (URL) <http://buhin.toto.co.jp/>「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法(リモコン連立対応など)」をご覧ください。

washLÉT  
apricot

はじめに	2
安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	2
同梱部品	3
各部のなまえ	3
・ウォシュレット本体	3
・ビルトイン室内暖房	3
・標準リモコン	4
・サウンドリモコン	4
・スティックリモコン	4
・ビルトインリモコン	5

1 給水金具と分岐金具の接続	6
2 ベースプレートの取り付け	6
3 ウォシュレット本体の取り付け	7
4 給水ホースの接続	7
5 アース線の接続	8
6 電源プラグの確認	8
7 リモコンの取り付け	9

試運転	12
給水フィルターの掃除	15
凍結のおそれがあるときの処置	16



◆「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です。

## はじめに

- 施工の前には、この説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けください。
- 必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。
- 便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレットをセットしてください。(施工のしやすさ、キズ防止のため)
- 便ふたがロータンクふたや壁に当たる場合は、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。

## 安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください!

**警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

**【絵表示の例】** してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告	
	浴室など湿気が多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)
	指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない (火災や感電の原因になります。)
	水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
	給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
	アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

注意	
	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない (水が噴き出します。)
	施工は施工説明書に従って確実にを行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	給水フィルターを取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

## 取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。  
温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因となります。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は1282Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください
6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
8. 下記の場合は、TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター  
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。

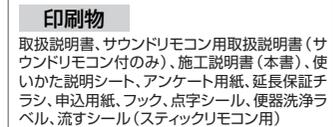
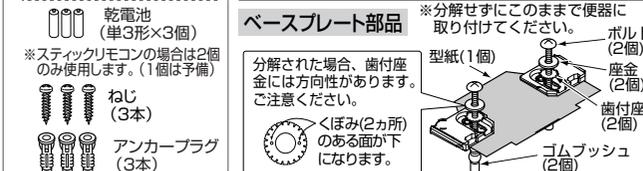
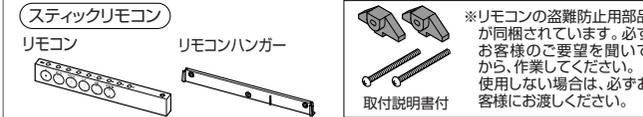
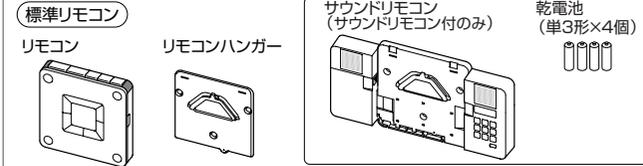
### 給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、④給水ホースの接続の④項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

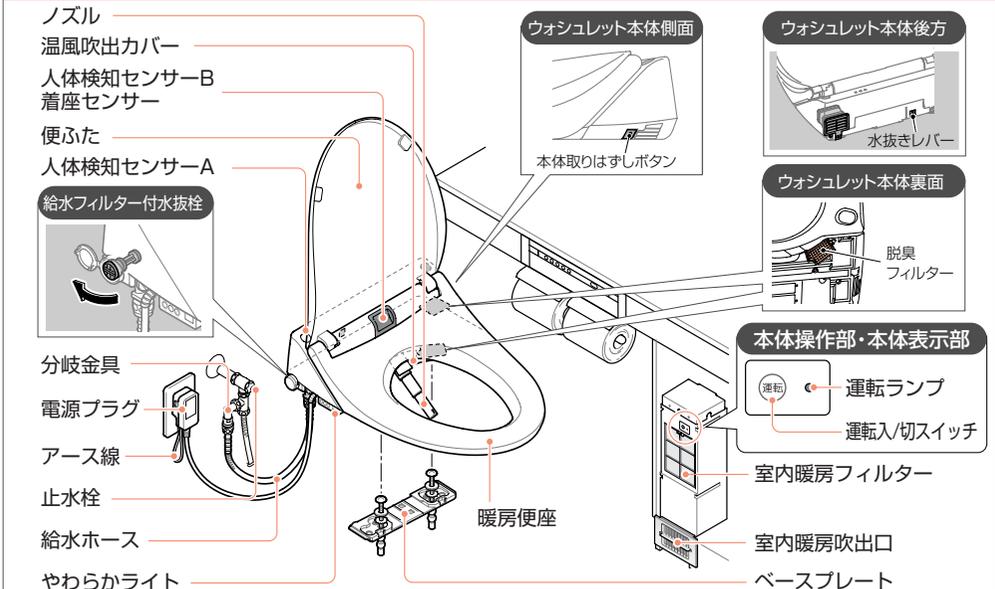
9. サウンドリモコンの別売品のACアダプターコードの長さは約2.8mです。  
コンセントはこの長さに適した位置に設置してください。

## 同梱部品

**リモコン部品** ※標準リモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。サウンドリモコンはサウンドリモコン付のみ同梱されています。



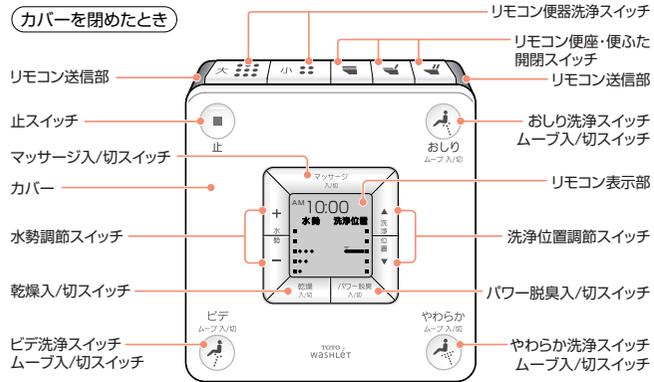
## 各部のなまえ



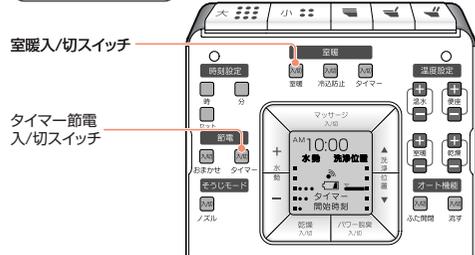
# 各部のなまえ (つづき)

## 標準リモコン

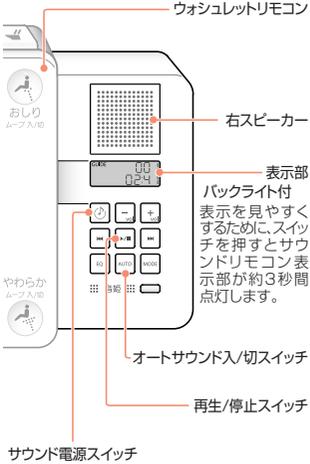
### カバーを閉めたとき



### カバーを開けたとき

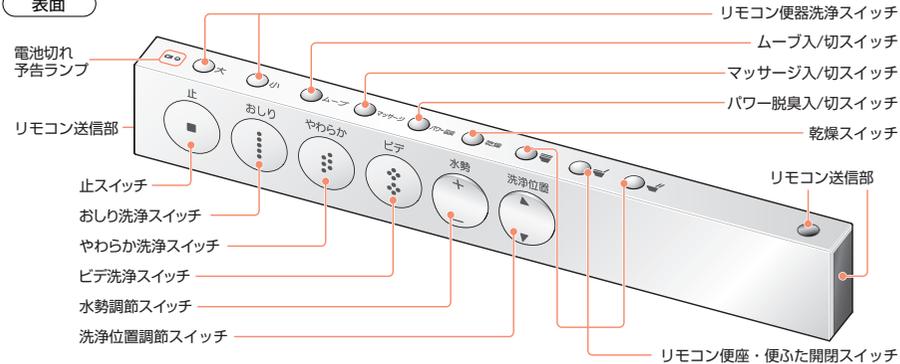


## サウンドリモコン

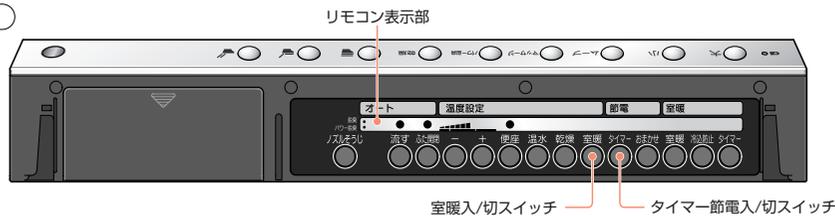


## スティックリモコン

### 表面



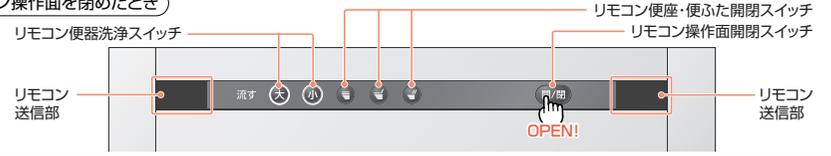
### 裏面



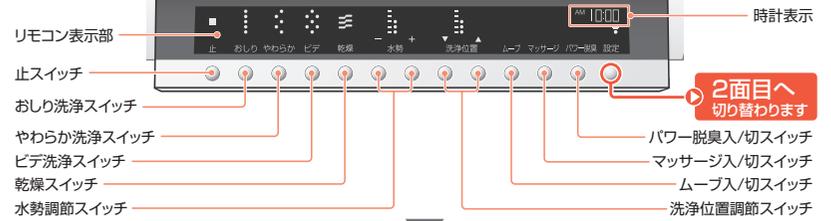
## ビルトインリモコン

※図はD設定後のリモコン操作画面画面です。

### リモコン操作面を開けたとき



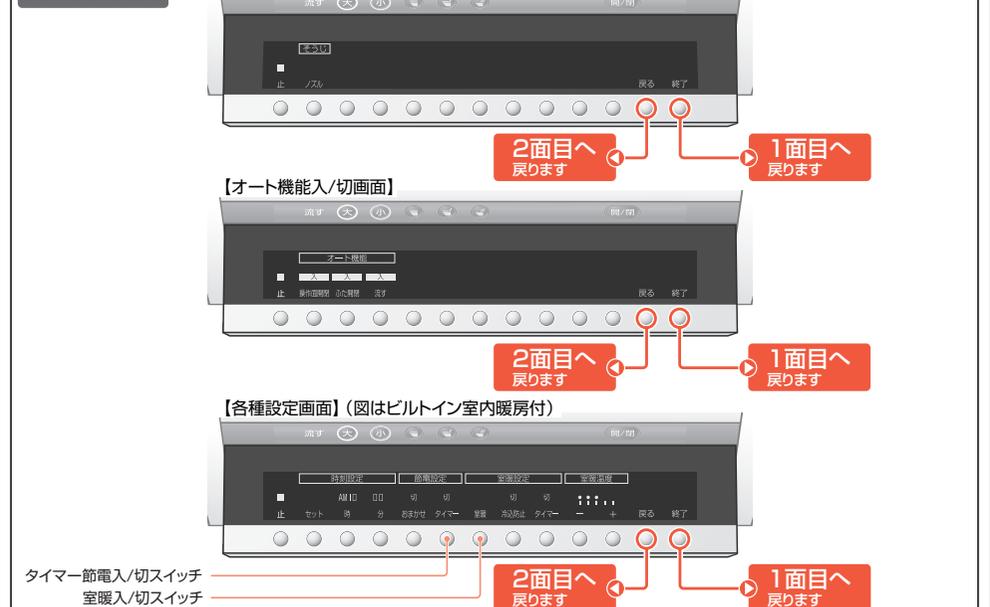
### 操作面1画面



### 操作面2画面

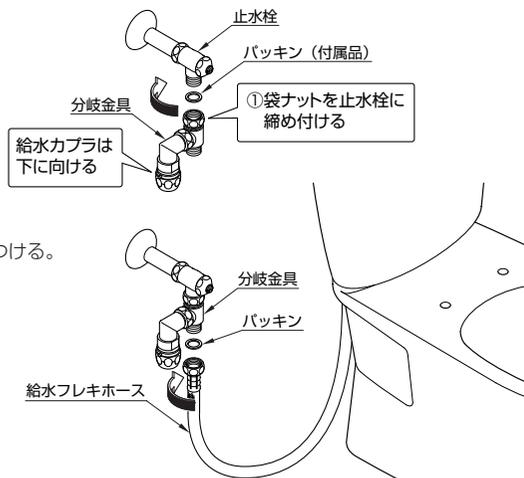


### 操作面3画面



# 1 給水ホースと分岐金具の接続

- 1 止水栓を閉める
- 2 分岐金具を止水栓に取り付ける

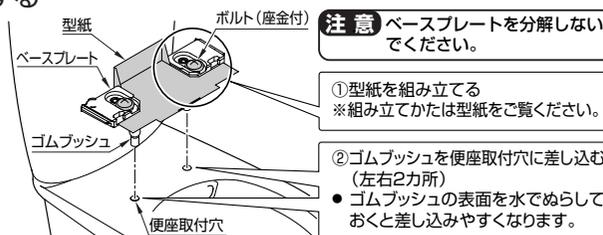


- 3 給水管を取り付ける
  - 分岐金具に給水フレキホースのナットを締めつける。

# 2 ベースプレートの取り付け

- 1 ベースプレートをセットする

●ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。

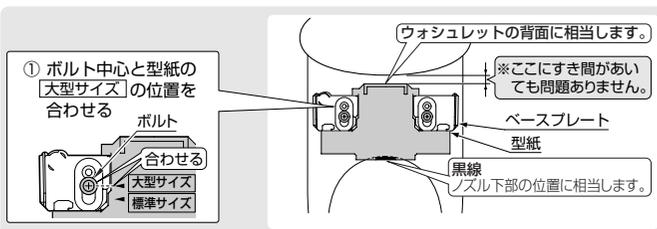


注意 ベースプレートを分解しないでください。

①型紙を組み立てる  
※組み立てかたは型紙をご覧ください。

②ゴムフッシュを便座取付穴に差し込む(左右2カ所)  
●ゴムフッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

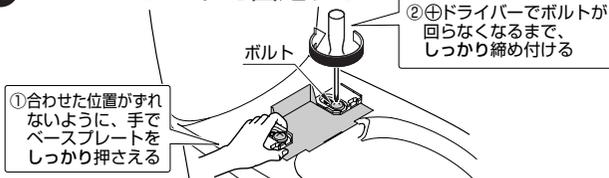
- 2 ベースプレートの位置を決める



① ボルト中心と型紙の「大型サイズ」の位置を合わせる

※ここにすき間があっても問題ありません。

- 3 ベースプレートを固定する



①合わせた位置がずれないように、手でベースプレートをしっかり押さえる

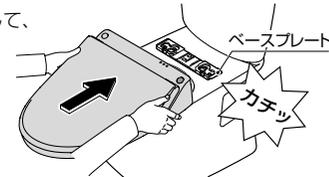
- 4 型紙をはずす



# 3 ウォシュレット本体の取り付け

- 1 ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

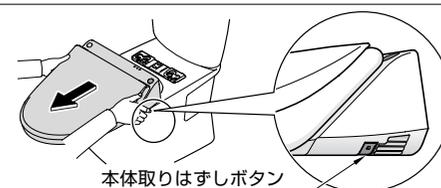
●ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、ウォシュレット本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



注意 正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

## ウォシュレット本体の取りはずしかた

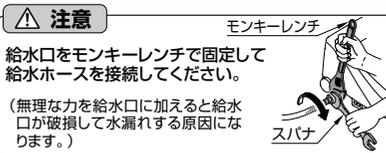
●ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。



- ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。)
- 便ふたが倒れてくるときは、ウォシュレット本体をはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して便ふたが自立するように調整してください。
- 取付便器によっては便座先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは、もう一度ベースプレートの位置を調整してください。

# 4 給水ホースの接続

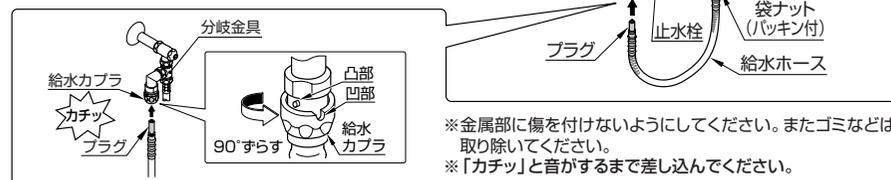
- 1 ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずす  
(③ ウォシュレット本体の取り付け **ウォシュレット本体の取りはずしかた** 参照)
- 2 ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける  
※この状態のまま製品を床に置かないでください。給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。



(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。)



- 3 給水ホースを分岐金具の給水カプラに差し込む(差し込み後、給水カプラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)



※金属部に傷を付けないようにしてください。またゴミなどは取り除いてください。  
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

## 4 給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体を取りはずしたり取り付けたたりできる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。  
 (同梱品の給水ホースの長さは970mmです。)  
 お求めはTOTOメンテナンス (株) TOTOパーツセンター  
 TEL ☎ 0120-8282-55・FAX ☎ 0120-8272-99 へご連絡ください。

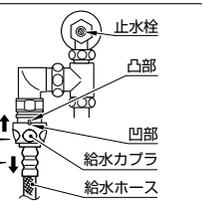
給水ホース長さ (mm)	品番	希望小売価格
1180	D24009ZSt5	¥2,000 (税込¥2,100)
1480	D24009ZSt6	¥2,300 (税込¥2,415)
1980	D24009ZSt7	¥2,800 (税込¥2,940)

※品番や希望小売価格は予告無く変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 給水ホースのはずしかた

●施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。  
 ※分岐金具の給水カプラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

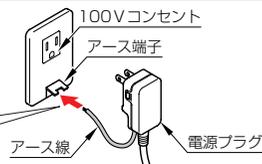
- ① 止水栓を閉める
- ② ロータンクの水を流す
- ③ 給水カプラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
- ④ 給水カプラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く



## 5 ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける (③ウォシュレット本体の取り付けかた ①項 参照)

## 5 アース線の接続

アース線をコンセントのアース端子に接続する  
 ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



## 6 電源プラグの確認

### 注意

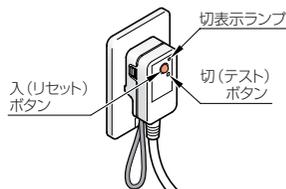
- 電源プラグを入れて最初に使ふたが開くとき、障害物に当たると次から使ふたが途中で止まることがあります。(3回続けて開いた位置を記憶します。)  
 障害物を取り除いた状態で電源プラグを一度はすもう一度差し込み、リモコンの「使ふた開スイッチ」を押してください。
- 電源プラグを入れてやわらかライトが約10秒~60秒間点滅した後、便器に近づくと自動で使ふたが開きます。やわらかライトが点滅中(人体検知センサーA 準備中)は、使ふたは「オート開」しません。
- 脱臭を始めます。

### 1 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む

- 温風吹出口カバーが開閉した後、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

### 2 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

- 「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
  - 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
- 以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

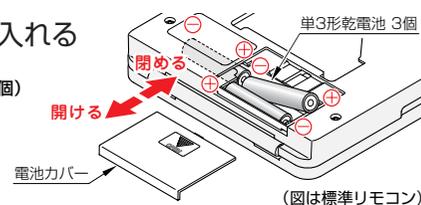


## 7 リモコンの取り付け

※サウンドリモコン付は、サウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

### 1 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

- ※⊕⊖を間違えないでください。
- ※スティックリモコンの場合は電池を2個しか使いません。(予備1個)



### 2 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める (図は標準リモコン)

#### 【操作性の確認】

- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。

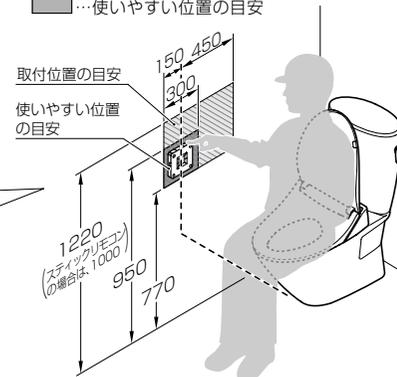
※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。スイッチを押してノズルが伸縮することを数回確認してください。

#### 【作動の確認】

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、右図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

※サウンドリモコン(サウンドリモコン付きのみ)の場合、左側に約20mmの空間を確保してください。(電池交換のため)

■…取付位置の目安  
 ■…使いやすい位置の目安

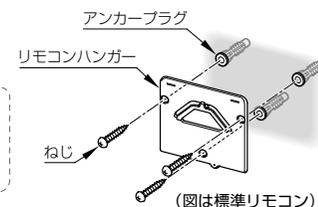


### 3 リモコンハンガー (またはサウンドリモコン) をねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

#### スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。

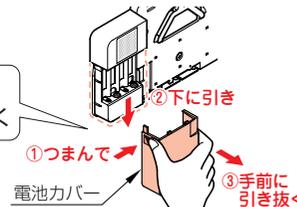
- リモコンを固定する場合に使用してください。取付方法は同梱の説明書をご覧ください。(必ずお客様の要望を聞いてから、作業してください。)



### 4 サウンドリモコン(サウンドリモコン付のみ) 乾電池の場合

#### 電池カバーを開け、サウンドリモコンに乾電池を入れる

- ①電池カバーをつまんで、下に引き手前に引き抜く

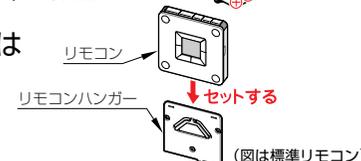


- ②単3形乾電池4個を入れ電池カバーを取り付ける



※乾電池は⊕⊖を確認して正しく入れてください。

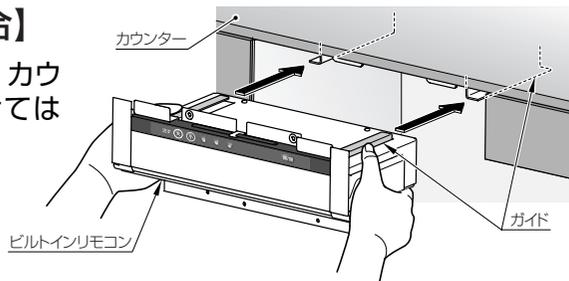
### 5 リモコンをリモコンハンガー (またはサウンドリモコン) にセットする



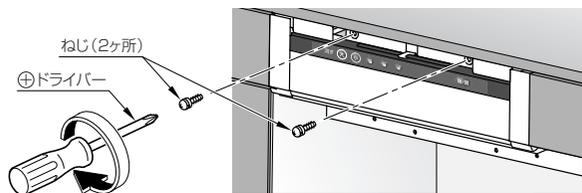
## 【ビルトインリモコンの場合】

### ① ビルトインリモコンを持ち、カウンター裏のガイドに合わせてはめ込む

※ビルトインリモコンや化粧板は表面がデリケートなため傷つきに注意してください。



### ② 同梱のねじで取り付ける

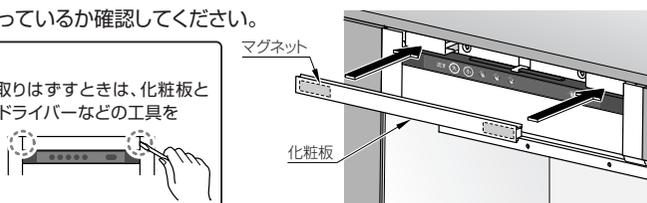


### ③ 化粧板を取り付ける

●化粧板が左右同じ高さになっているか確認してください。

#### 化粧板のはずしかた

施工のやり直しなどで化粧板を取りはずすときは、化粧板とビルトインリモコンのすき間に⊖ドライバーなどの工具を差し込み、取りはずしてください。



### ④ 電源プラグをコンセントに差し込む

●ビルトインリモコンが光っていることを確認してください。



## ビルトインリモコンのID設定

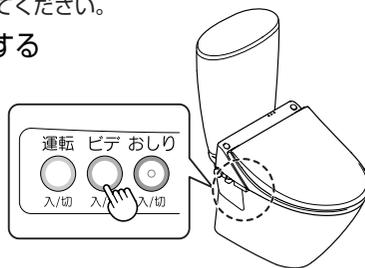
※設定をしないとビルトインリモコンは動作しません。必ず下記の設定を行ってください。

●ウォシュレット本体の電源が「入」になっていることを確認してください。

### ① ウォシュレット本体側の送信機をID設定状態にする

- ウォシュレット本体操作部の **ピデ** を10秒以上押す
- ID送信設定状態になるとウォシュレット本体から「ピッ」という電子音がなります。

※設定状態は60秒間です。時間内に②の操作を行ってください。



### ② リモコンをID設定状態にする

① ビルトインリモコンの **開/閉** を押す



### ② **ピデ** を10秒以上押し続ける

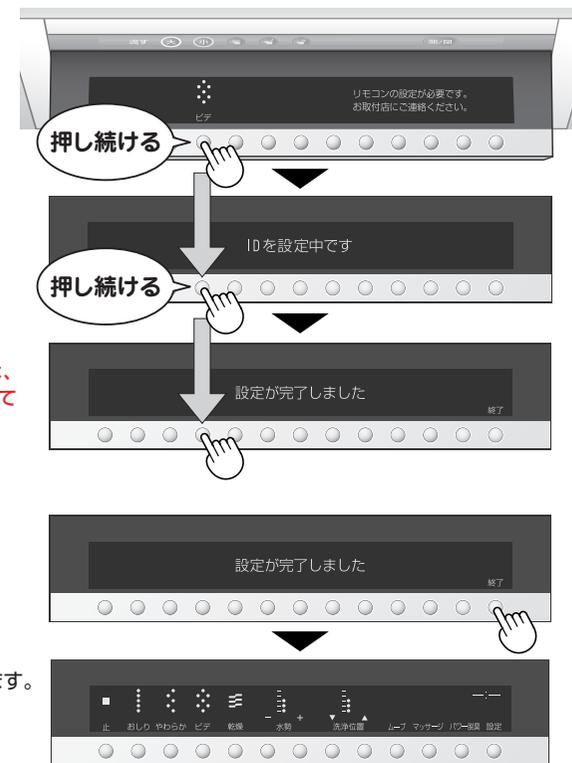
- ウォシュレット本体とビルトインリモコンのIDが正常に設定されると液晶画面に「設定が完了しました」と表示されます。

押し続ける

※この画面にならないときは、もう一度最初からやり直してください。

### ③ **終了** を押す

- 画面が右図のように表示されます。



## ビルトイン室内暖房のID設定(室内暖房付のみ)

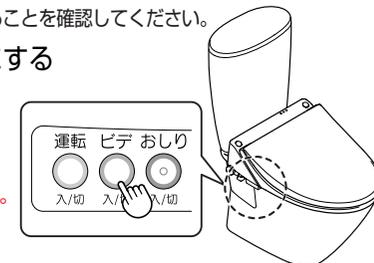
※設定をしないとビルトイン室内暖房は動作しません。必ず下記の設定を行ってください。

●ウォシュレット本体とビルトインリモコンの電源が「入」になっていることを確認してください。

### ① ウォシュレット本体側の送信機をID設定状態にする

- ウォシュレット本体操作部の **ピデ** を10秒以上押す
- ID送信設定状態になるとウォシュレット本体から「ピッ」という電子音がなります。

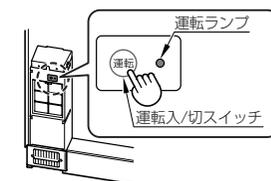
※設定状態は60秒間です。時間内に②の操作を行ってください。



### ② ビルトイン室内暖房をID設定状態にする

- ① ビルトイン室内暖房本体の「運転」ランプ(緑色)が点滅していることを確認する
  - ② ビルトイン室内暖房本体の **ピデ** を10秒以上押す
- ウォシュレット本体とビルトイン室内暖房のIDが正常に設定されると「運転」ランプ(緑色)が点灯します。

※「運転」ランプ(緑色)が点灯しない場合はもう一度①の手順から行ってください。



# 試運転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。

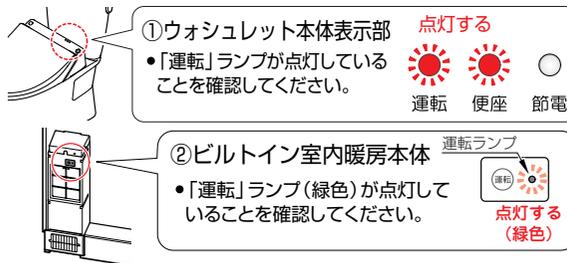
「入」のときは下記「運転」ランプが点灯します。

①ウォシュレット本体表示部

②ビルトイン室内暖房本体

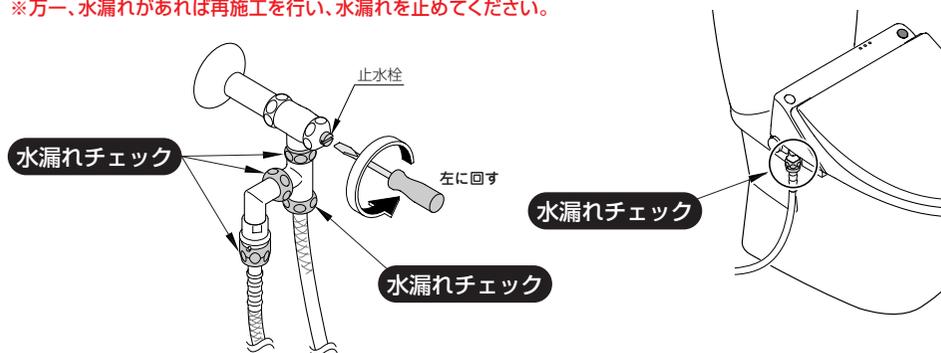
「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでウォシュレットやビルトイン室内暖房は作動しません。

※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。



## 1 水漏れの点検

- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認します。
  - ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認します。
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



## 2 機能の確認

- リモコンスイッチのなまえやスイッチの場所は **各部のなまえ** を確認してください。

### 1 電源プラグが入っていることを確認する

- 電源プラグをいれ、約10~60秒間やわらかライトが点滅します。(人体検知センサーA 準備中) その間便ふたは「オート開」しません。
- 脱臭を始めます。

### 2 リモコン便器洗浄機能を確認する

- リモコンの「大・小」スイッチ、または「流す」スイッチを押すと便器の水が流れますか？
- オート便器洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。

### 3 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。検知した状態になるとやわらかライトの光が明るくなります。またノズル付近から数秒間水が出ます。(便座を閉めないで着座センサーははたらきません。)

### 4 脱臭機能を確認する

- ウォシュレット本体背面右側の吹出口より風が出ていますか？



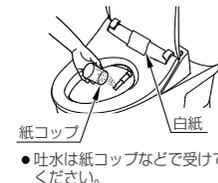
## 2 機能の確認(つづき)

### 5 パワー脱臭機能を確認する

- ①「パワー脱臭」スイッチを押す → 脱臭音が大きくなりますか？
- ②もう一度、「パワー脱臭」スイッチを押す → 通常の音に戻りますか？

### 6 洗浄機能を確認する

- ①「おしり洗浄」「やわらか洗浄」「ビデ洗浄」スイッチを押す → ノズルから適温の温水が出ますか？  
※水が出ないときは ② 給水ホースと分岐金具の接続を確認してください。
- ②「水勢調節」スイッチのプラス・マイナスを押す → 水勢が変化しますか？
- ③「止」スイッチを押す → 温水が止まりますか？



### 7 乾燥機能を確認する

- ①「乾燥」スイッチを押す → 温風がノズルの右側から出ますか？
- ②「止」スイッチを押す → 温風が止まりますか？



### 8 室内暖房機能を確認する(室内暖房付のみ)

- ①ビルトイン室内暖房本体の「運転」ランプ(緑色)が点灯していることを確認する
- ②リモコンの「室暖入/切」スイッチを押す → キャビネットの下側から温風が出ますか？
- ③もう一度リモコンの「室暖入/切」スイッチを押す → 約10秒後に温風が止まりますか？
- 室温より設定温度が低い場合は約70秒間風が出て止まります。



### 9 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

### 10 着座センサーを白紙でおおった後、白紙をはずす

- 白紙をはずすとやわらかライトの光が少し暗くなります。
- ※約30秒間ノズルが少し出た状態で少量の水が出ます。
- ノズル収納後、温風吹出口カバーが少し開いて閉まります。

### 11 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約60秒後に自動で止まりますか？

### 12 オート便器洗浄機能を確認する

- 白紙をはずして約5秒後に自動で便器洗浄しますか？
- 男子小便時オート便器洗浄の確認：便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れたら約3秒後に自動で便器洗浄しますか？

### 13 リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する

- 「便座・便ふた開閉」スイッチを押す → 便座・便ふたが開閉しますか？

### 14 便ふたオート開機能を確認する

- 便ふたが閉まり約10秒後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？
- ※便ふたが自動で開かない場合は体を動かしてみてください。

### 15 ビルトインリモコン操作面開閉機能を確認する(ビルトインリモコン付のみ)

- [開/閉] を押す → ビルトインリモコン操作面が開閉しますか？

### 16 ビルトインリモコン操作面オート開機能を確認する(ビルトインリモコン付のみ)

- 便器に近づいてから約10秒後にビルトインリモコン操作面が自動で開きますか？
- ※ビルトインリモコン操作面が自動で開かない場合は、一度便器から離れたあと、もう一度近づいてください。



試運転他

## ② 機能の確認 (つづき)

### ⑰ 便ふたオート閉機能を確認する

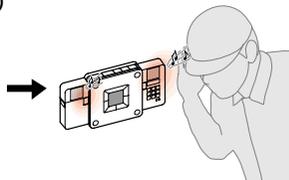
- 便ふたが開いた後便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか？

### ⑱ ビルトインリモコン操作面オート閉機能を確認する (ビルトインリモコン付のみ)

- 便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後にビルトインリモコン操作面が自動で閉まりますか？

### ⑲ サウンドリモコン機能を確認する (サウンドリモコン付のみ)

- 電源ボタンを押してリモコンを「入」にする
- 約10秒後「MUSIC」を押す → 音楽が流れますか？
- 確認後、もう一度「MUSIC」を押す → 音楽が停止します。



### ⑳ オートサウンド機能を確認する (サウンドリモコン付のみ)

- 便ふたを開いて電源ボタンを押してリモコンを「入」にする
- 「MUSIC」を「入」にして便器の前に立つ → 音楽が流れますか？
  - サウンドリモコンの表示部に「AUTO」が表示されます。
- 確認が終わったらもう一度「MUSIC」を押し、「切」にしてください。



## 給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

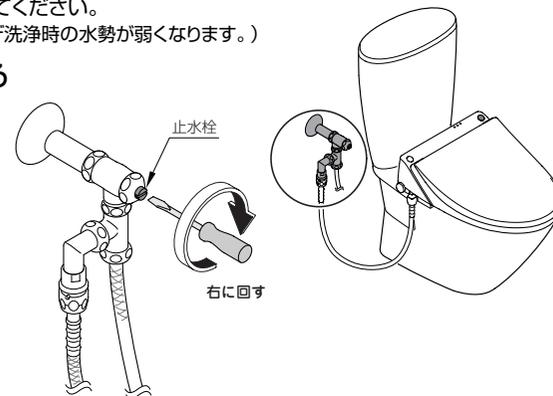
- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり洗浄・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

### ① 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。
- 「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸出させてください。(給水管内の圧抜きです。)

#### ⚠ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)

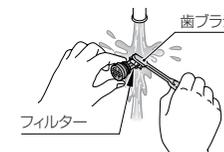


### ② キャップを開けて、給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす



### ③ フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ※ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

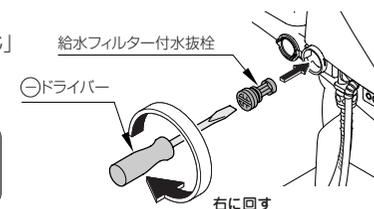


### ④ 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める

- ※ノズルが戻っている場合は、もう一度「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを伸出させてください。

#### ⚠ 注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める(確実に締めないとおしり洗浄の原因になります。)



### ⑤ 「ノズルそうじ」スイッチを押して、ノズルを戻す

### ⑥ 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

### ⑦ キャップを閉める